

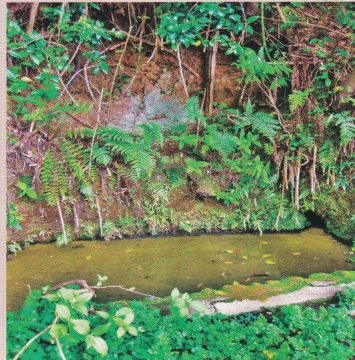
①拝殿 天井絵

歌舞伎絵の第一人者と称された後藤芳世画伯（日本美術院特待）が7年の歳月をかけて格天井に描き上げた150枚。中央の迫力ある龍神様とその周りを縁起物で埋めた「宝尽く」の天井絵は、神々しい赤誠の作です。天井の四隅の白狐と、東西南北の青龍、白虎、朱雀、玄武の四神が神社の四方をお守りしています。

拝殿の入口には、狐や龍、獅子、獺などの豪華な彫刻があり、屋根のひさしを囲むように鳩が配された凝った意匠が施されています。

⑤黄金の泉

光を反射して黄金色に輝くヒカリモ（光藻）の自生地です。金運の御利益があります。



④子守り母狐

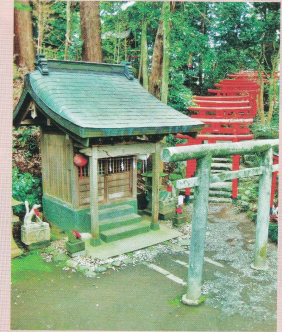
鳥居の両脇で境内を守る4体のお狐様の中に、子どもを慈しみ、お守りをしている「子守り母狐」がおります。お子様の健やかな成長の御利益をいただくことができます。

湧き水

当社の鎮座地「秦野市今泉 字芹沢 小字一貫田」は、日量7千トンの清らかな水が湧き出る豊かな土地です。古来、我が国は「豊葦原の水穂の国」と称され、水田稲作により文化を育んできました。お稲荷様は稲作・穀物の神様です。境内の湧水がこの地の農作物の生育を支えてきました。

②東末社

草木の精霊を祀る東末社はパワースポットとして信仰を集めています。社の左右に鎮座するお狐様は明治時代にイギリスから初めて輸入されたコンクリートで造られました。



③南はだの七福神 寿老人

寿老人は長寿・財宝・名誉を授け、手に持つ団扇で病氣や災いを払う、人々の暮らしと健康を守る神様です。

